

【ナレーション】



札幌には



人知れず咲く花があり



世界の常識を変える  
数知れない化石が  
眠っています。



46億年前の地球誕生から  
海、大地、すべての生命  
そして人、街、



わたしたちの暮らし  
すべてのものは、  
つながっています。



札幌の歴史も、  
わたしたちの活動も  
そのつながりの中に  
あります。



札幌に眠る宝物、それは  
これらのつながりを解明  
してくれるすべてのもの。  
そこには、札幌の未来を  
考えるヒントも  
散りばめられています。



「札幌市博物館活動センター  
学芸員 古沢 仁」



「これが、つながりを  
解明してくれた  
札幌の宝物のひとつ  
サッポロカイギュウです。」

【ナレーション】



サッポロカイギュウの化石は  
南区を流れる豊平川で  
当時 11歳の小学生によって  
発見されました。



「化石そのものも、もちろん  
宝物なのですが、その輝きを  
増すのは、その後の研究に  
よってなのです。」



サッポロカイギュウとは  
どんな生き物なのか。  
どの時代の、どんな環境の中で  
生きていたのか。



どんな大きさで、  
何を食べていたのか。



世界各地で発見された  
カイギュウの研究を元に  
サッポロカイギュウは体長が  
7mに達する大型のカイギュウに  
復元されました。



珪藻などの微小な化石の研究や  
放射性絶対年代測定などの  
研究で

【ナレーション】



生息年代や環境、  
そして何を食べていたのかも  
わかりました。



研究成果のつながり



違う分野、別の視点  
様々な研究成果と人の繋がりが  
新たな研究成果、  
新たな発見に結びつくのです。

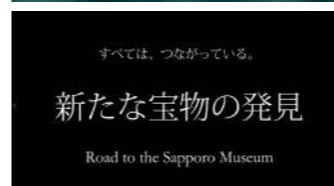


「様々な研究が相互に繋がり  
謎の全体が解明されていく。  
まさに宝物を輝かせていく  
過程が研究です。」



820万年前

サッポロカイギュウは今から  
820万年前、  
寒冷化が始まる時期に  
札幌周辺の海で大型化した  
海生哺乳類です。  
それ以前、4m前後の大きさ  
だったカイギュウが、豊富にある  
コンブなどの海藻類を食べて  
7mを越える大きさになり、  
その後、北太平洋に広がって  
いったことを明らかにしました。  
そして、  
サッポロカイギュウの研究は  
新たな発見につながっていきます。



【ナレーション】



南区を流れる豊平川の河床で  
大きな骨の化石を見つけた  
発見者は、



サッポロカイギュウの研究をしていた  
博物館活動センターをインターネットで  
知り、訪ねてきました。



サッポロカイギュウの成果が  
新たな研究と繋がったのです。



「南区小金湯で発見されたのは  
巨大なクジラの化石でした。」



そしてこの発見は、札幌には  
サッポロカイギュウが海藻を食べる  
浅い海があり、また同時に  
クジラがゆったりと泳ぐ深い海がある  
多様性に富んだ水域だったことを  
明らかにしました。



「次に宝の原石を発見するのは  
この動画を見ている、あなたです。  
一緒に札幌の謎を解明し、その魅力を  
輝かせていきましょう。  
札幌のすべては、あなたに  
つながっています。」



「続きは、  
札幌市博物館活動センターで  
お待ちしております。」